

## 海上の森自然環境保全地域維持管理事業について

## 1 シデコブシの保全

周辺樹木の生育による日照不足から開花や結実が少なくなり、生育が懸念されていたシデコブシについて、生育環境改善のための調査と保全活動を実施している。

調査は、平成19年度から平成23年度にかけて、屋戸川・寺山川野生動植物保護地区の一部区間において、試験的に除間伐を行い、光環境改善効果について名古屋大学へ調査委託した。

平成24年11月からは、この結果を基に、大和リース株式会社名古屋支店と協働して、名古屋大学の指導・助言のもとに周辺樹木の除間伐を春と秋に実施している。

○平成26年度：平成26年4月2日、31名参加

平成26年10月29日、36名参加

○平成27年度（春）：平成27年4月8日、39名参加

これまでの作業で、寺山川流域における保全作業に一定の成果が認められたため、次回以降の活動は屋戸川流域に場所を変更して実施する予定である。

今後も保全活動を実施し、名古屋大学の指導・助言のもとにシデコブシの保全に努めていく。



シデコブシ保全活動

## 2 スミレサイシンの保全

四ツ沢北東部野生動植物保護地区の生育地で、平成21年度に実施した二次林内の竹林の除伐等によりチヂミザサ等の雑草が繁茂したため、平成22年度から海上の森の会と協働して、除草や一部の場所で落葉の除去作業を実施している。

○平成26年度：平成26年9月4日、15名参加

今後も保全活動を実施し、植物分野の専門家の指導・助言のもとにスミレサイシンの保全に努めていく。



スミレサイシン保全活動

## 3 湿地の保全

屋戸川流域の湿地について、貧栄養湿地としての特性を保全するため、海上の森の会と協働して、アシやヌマガヤなどの枯れ草を除去している。

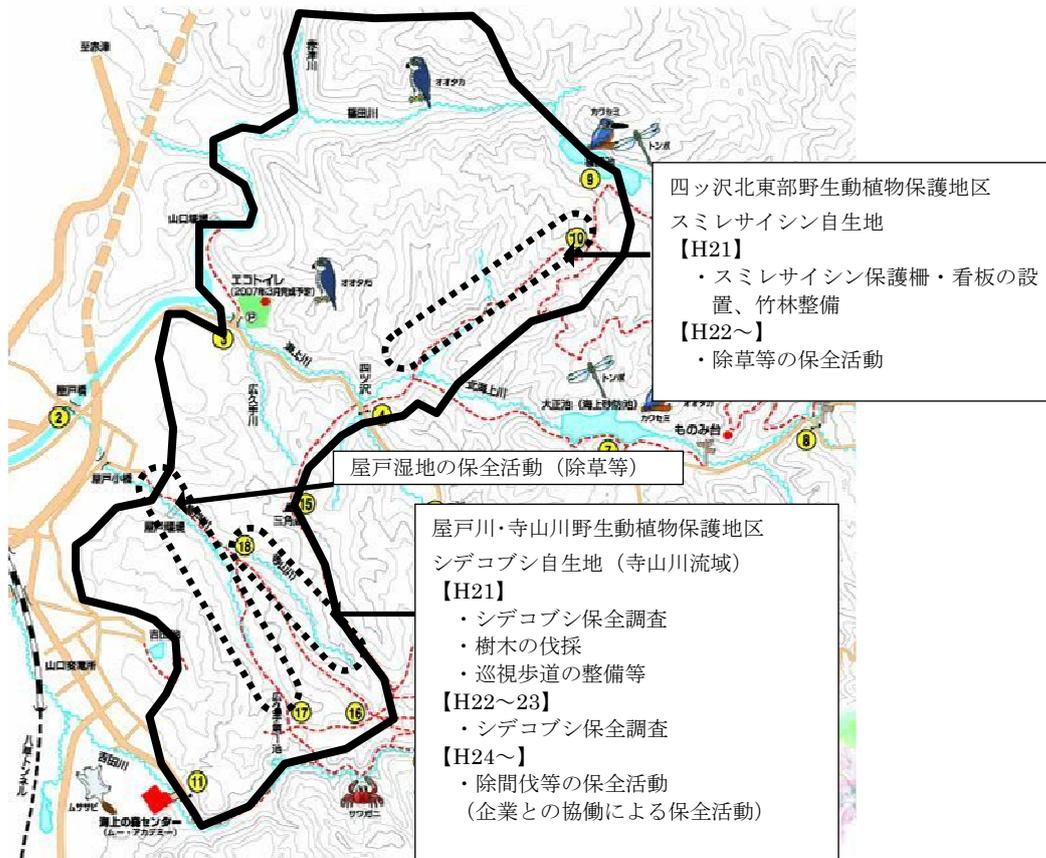
○平成26年度：平成26年12月25日、15名参加

平成27年2月12日、19名参加

今後も保全活動を実施し、植物分野の専門家の指導・助言のもとに湿地の保全に努めていく。



湿地保全活動



図：海上の森自然環境保全地域における希少種保全対策